

豊臣秀勝は 1591 年から 1592 年に亡くなるまで岐阜城の城主であった。彼は豊臣秀吉（1537－1598）の妹の息子で、織田信長の姪、於江（1573－1626）と結婚した。能力のあった武将で、秀勝は多くの戦いで名声を高め、最初は京都の丹波亀山城を、引き続き山梨の甲府城を与えられた。

1591 年初頭、秀勝は岐阜城の城主となった。しかし、その 1 年後、秀吉の命により、秀勝は岐阜城の武士を引き連れて朝鮮侵略を遂行するために朝鮮へ出陣した。秀勝は渡航中に発病し、釜山南東の巨済島で死亡した。秀勝の死後、岐阜城は織田秀信（1580-1605）に引き渡された。